

# イスラエル経済月報（2019年8月）

在イスラエル日本国大使館（担当：経済班 栗田 宗樹）

<目次>

イスラエルの動き（主な報道） ..... 2

主要経済指標..... 6

1. 経済成長率（GDP）
2. 貿易(Export & Import of Goods)
3. 失業率（Unemployment Rate）
4. 消費者物価指数（CPI）
5. 政策金利(Interest Rate)
6. 為替（Exchange Rate）
7. 外貨準備高（Foreign Reserve）
8. 主要株価推移（TA35）

イスラエル 経済関係..... 11

**ベンチャー投資** 最近のメガ投資の流れが意味するもの

日本-イスラエル 経済関係..... 13

**直行便** エル・アル航空が成田-テルアビブ間の直行便のチケット販売を開始

**サイバーセキュリティ** ソフトバンクがサイバーリーズンに2億ドルを追加投資 サイバーリーズンはユニコーン企業の仲間入りを果たす

**VQ** AT Partners がイスラエル向け40億円のファンド・オブ・ファンズを組成

**スポーツテック** NTTドコモベンチャーズがW.S.C. Sports Technologies社に出資

**スマートモビリティ** デンソーが米国オハイオ州でスマートモビリティ関連プロジェクトに投資  
No Traffic社もパートナーとして参加

**アグリテック** 住友商事がCropX社に出資

**アレックシオメディック** アンジェスがBarcode Diagnostic社に出資

**デジタルヘルス** みずほ情報総研、村田製作所、The legant Monkeys社及びトッパン・フォームズが業務提携覚書を締結

イスラエルにおける展示会・国際会議の今後の予定（目次掲載は主要なもののみ） .. 19

**AI・ビッグデータ・HLS** Future Security 2019（2019年9月9～11日、テルアビブ）

**イノベーション** DLD Tel Aviv INNOVATION FESTIVAL 2019（2019年9月16～19日、テルアビブ）

**フードテック** FoodTech IL 2019（2019年9月23日、テルアビブ）

**モビリティ** Smart Mobility Summit 2019（2019年10月28～29日、テルアビブ）

**水** WATEC Israel（2019年11月18～21日、テルアビブ）

**NEW デジタルヘルス** Digital.Health.Now. 2019（2019年11月27日、テルアビブ）

**サイバーセキュリティ** CyberTech（2020年2月3～5日、テルアビブ）

**スタートアップ** 2020 OurCrowd Global Investor Summit（2020年2月11日～13日、エルサレム）

**スマートモビリティ** EcoMotion Week 2019（2020年5月18～21日、テルアビブ） 等

日本におけるイスラエル関連イベントの今後の予定（目次掲載は主要なもののみ） .. 26

**NEW 自動車** 名古屋オートモティブワールド2019（2019年9月18～20日、愛知）

**観光** ツーリズムEXPOジャパン2019（2019年10月24～27日、大阪）

**サイバーセキュリティ** サイバーテック東京2019（2019年11月26～27日、東京）

※本資料は、報道や政府発表、企業発表等の一般公表情報を基に作成しております。

## イスラエルの動き（主な報道）

（出典：報道）

- 1日 シェケル高が進行するなか、イスラエル中央銀行ヤロン総裁は、近い将来の利上げを明確に否定。7月のCPIの予想以上の下落を受け、インフレ状況にないとの判断。
- 1日 サブスクリプション方式のモバイルアプリ開発企業 Lightricks 社が 1.35 億ドルを資金調達し、企業評価額を 10 億ドルとした。写真修正アプリ等を提供している。
- 1日 関係者が匿名で語ったところによると、イスラエル国営企業 Israel Natural Gas Lines 社が、ネゲブとエジプトを結ぶ 35km のパイプライン建設について、エジプトの企業と交渉中。同パイプラインは、エジプト国内の 25km のラインと接続予定。
- 1日 スイスの国営企業スイスポストとイスラエルの国営企業 Israel Postal Company が、無人店舗、ロボティクス等の分野でイスラエルスタートアップの探索で提携。
- 1日 ダイソーが今月エルサレムに店舗を開設予定。現在イスラエル国内には 3 店舗が存在。
- 2日 イスラエルの 25-64 歳の雇用率は 78.3% で、OECD 平均の 73.7% より高い。一方、アラブ系女性と超正統派男性の雇用率は、それぞれ 38.2% と 50.2% にとどまる。
- 2日 独占禁止庁は、Delek Group 社と Noble Energy 社による East Mediterranean Gas Company のイスラエル-エジプト間ガスパイプライン買収を条件付で認可。
- 2日 カナダの決済ソリューション企業 Nuvei 社が、8.89 億ドルでイスラエルのオンライン決済企業 SafeCharge 社を買収。同社はロンドン証券取引所 AIM 市場から上場廃止。
- 5日 定例閣議が特別にエイラットで開催され、同地域開発に係る 5 億 NIS 規模の計画が公表された。同地域付近に海産食品、栽培漁業、海洋生物学の産業団地を設立することに加え、マグロの養殖等に向けた計画等を立案するためのチーム発足が含まれる。
- 5日 イノベーション庁と社会平等省の National Digital Israel Initiative は、計算生物学、デジタルヘルス、創薬、AI に関するイノベーションハブ設立の入札を開始予定。
- 6日 ソフトバンクがサイバーリーズンに 2 億ドルを追加投資。同社へのソフトバンクからの投資額は 3.5 億ドル超、累計調達額は 4 億ドル、企業評価額は 10 億ドル超となったが、ソフトバンクは支配権を握っていないとのこと。
- 6日 NY とテルアビブ上場のイスラエルの製薬企業 Can-Fite BioPharma 社が、現在フェーズⅢの治験中の乾癬等治療薬に関し、韓国の Kyongbo Pharm 社と販売契約を締結。
- 7日 国家保険機関が公表した調査によると、2016 年、家計の主たる稼ぎ手の 46% が週 46 時間以上働いており、1991 年の 37% から上昇している。過労が懸念される。
- 7日 深圳証券取引所上場の肥料・調味料製造企業 Chengdu Wintrude Holding 社の経営陣が、アグリテックのスタートアップ探索のために来週イスラエルを訪問予定。
- 8日 国家計画・建設評議会は、大都市の人口密度を増やすことが可能か、調査開始を決定。現在のイスラエルの大都市の人口密度は、OECD の他の主要都市よりも低い。
- 8日 イスラエル Shapir Engineering & Industry 社とスペイン CAF Group 社が、エルサレムのライトレールに係る入札（グリーンラインの工事・運営・管理、レッドラインの延長工事及び同ライン全体の運営・管理）を落札。100 億 NIS 規模と見積られる過去最大の入札にはイスラエルと中国のコンソーシアムも応札していたが、落札ならず。

- 8日 セールスフォースがイスラエルのソフトウェア企業 Clicksoftware 社を 13.5 億ドルで買収することで合意。顧客の元に技術者を派遣, 物流管理システム等を開発している。
- 9日 アメリカン航空が, ダラス-テルアビブ間の週 3 便の直行便を来年 9 月から運航予定。
- 11日 ルフトハンザの子会社スイスインターナショナルエアラインズが, チューリッヒ経由のテルアビブ-大阪便を 2020 年 3 月から週 5 便就航させると発表。
- 11日 韓国ロッテ重光昭夫会長が AI・ビッグデータ・物流システムの企業を探索するため, イスラエルを訪問中。コーヘン経済産業大臣にも面会予定。
- 12日 国防省がイノベーションセンターを設立。INNOFENSE と呼ぶプログラムで, SOSA と iHLS Startup Accelerator と連携し, 5 万ドルのインセンティブ等で防衛分野に関する起業家を支援。まずは 10 社を選定予定。
- 12日 イスラエルのサイバーセキュリティ企業チェックポイントが, デジカメの最新モデルは, USB や WiFi 接続を通じた脆弱性が増大していることを公表。
- 12日 ゴラン高原で 2011 年から計画されているイスラエル最大の風力発電所の建設が, ゴラン高原のレーダー施設を妨害するという理由で国防省からの反対を受け, 遅滞中。
- 14日 複数の関係者が匿名を条件に明かしたところによると, イスラエル電力庁は, 小規模発電所への発電量の割当を 300MW から 450MW に増加させることを決定した。
- 14日 アマゾンのクラウドサービス Amazon Web Services 社が, イスラエル国内のデータセンターにクラウド基盤を構築することを発表。現在イスラエルにおける同社サービスの顧客は欧州のデータセンターを使うことから, 欧州の規制に従う必要がある。
- 15日 中央銀行は, 為替介入の不胎化政策を見直し, 市場のシェケルの流通量を増やすことを検討中。先月の CPI 下落を受け, 為替介入をインフレ促進策として活用する考え。
- 15日 運輸・道路安全省, ハイファ市, Israel Ports Company 及びイスラエル空港庁は, ハイファ空港の滑走路延長とそれに伴う海港等の改修に関する協定に署名。
- 15日 イスラエルのソフトウェア企業 Nice 社は, 米国連邦航空局から, インシデント対応への速さと安全性の可視性を増大させるシステムを 10 年間 1.37 億ドルで受注。
- 15日 フェイスブック COO の Sherly Sandberg がイスラエルを訪問。リヴリン大統領を表敬したほか, 同社の起業家向け施設 Playground のローンチイベントに出席。起業家向けプログラムでは, 送金分野等から 13 社のスタートアップが選ばれた。
- 16日 デンソーが米国オハイオ州でスマートモビリティ関連プロジェクトに投資。イスラエルの信号制御スタートアップ NoTraffic 社もパートナーとして参加。
- 16日 イスラエルにおけるドイツ企業のプレゼンスが増大中。2019 年上半期のイスラエルにおける欧州関連の投資の 30%がドイツ企業が関係するものだった。
- 19日 中央銀行は, 労働生産性を向上させるためのロードマップを公表。教育とインフラへの投資といった方策に加え, 学校の休暇をビジネスの休暇とあわせることを提言。
- 20日 情報筋によると, Metzer キブツが, 保有する点滴灌漑システム製造 Metzer Group 社の株式の多くを海外の投資ファンドに売却交渉中。
- 20日 ベングリオン大学の調査によると, イスラエルの年金受給者の収入はリタイア前の収入の 65.9%で, 欧州の水準と比べて低い。
- 21日 ネタニヤフ首相がウクライナを訪問。ウクライナがエルサレムにハイテク関連事務所を開設することを決めたほか, 農業分野の MOU 等に署名。

- 21日 ハイファの開発センターで開発した史上初の AI チップをインテルが公開。同社は複数のイスラエルスタートアップに投資しており、それらが開発に貢献した模様。
- 21日 イスラエルの PE ファンド FIMI が、保有する世界第二位の点滴灌漑企業 Rivulus 社を売りに出す。5 億ドル程度の売却額となると見込まれている。
- 21日 中国科学院（アカデミー）が、イスラエルのバール・イラン大学に初の海外高度研究拠点を設立。ナノ医療と二次元物質工学、特にグラフェンの研究を行う。
- 22日 韓国オ・ミョンヒ貿易大臣がイスラエルを訪れ、エリ・コーヘン経済産業大臣と、FTA 交渉妥結を宣言（未署名）。2018 年の両国間の貿易額は 25 億ドルで、本 FTA によるイスラエルへの経済効果は年間 1 億ドルと見積もられる。東エルサレムやゴラン高原など、グリーンラインを超える地域は対象から除外されるものの、イスラエル政府が補償措置を講じる予定。
- 22日 ワイツマン科学研究所と韓国生産技術院が、素材・部品・装置の分野における協力覚書に署名。
- 22日 ポルシェの CVC が、テルアビブに拠点を置くセンシング技術スタートアップ TriEye 社に 200 万ドル投資。インテル・キャピタルが 1,900 万ドルのシリーズ A をリード。
- 22日 日本の AT Partners が SOMPO ホールディングスと NTT ファイナンスを LP として、イスラエルの VC に投資する 4,000 万ドル規模のファンド・オブ・ファンズを組成。
- 23日 政府はサイバー武器の輸出に関する規制を緩和。特定の国への特定の製品の輸出が可能となる。輸出許可の手続きも最大 4 か月短縮される見込み。人権団体からは批判。
- 23日 イスラエル人起業家が創業し、ニューヨークに拠点を置くライドシェア企業 Via 社が、ニューヨーク市によって、スクールバスのマネジメントシステム供給事業者に選ばれた。1.1 万人の生徒に、最適化されたバスルートでの運行サービスを提供する。
- 25日 中央統計局の発表によると、イスラエルの民間研究開発費は、2017 年約 189 億ドル。その 54% は海外由来。対する政府研究開発費はわずか 14.8 億ドル。
- 26日 大手 NPO の StartUp Nation Central によると、複数のドイツ企業からなる 70 名規模の使節団が、9 月イスラエルを訪問予定。インダストリ 4.0 分野で技術探索。
- 26日 カナダのブラックベリー社が、ペタク・テクヴァの開発センターを閉鎖する。2015 年に買収した WatchDox 社を基礎とし、40 名を雇用していた。
- 26日 イスラエル製の交通アプリ Moovit のユーザーが 5 億人に達したと、同社が発表。
- 27日 屋内ナビゲーションスタートアップ Navin 社が、スマホの地図アプリにおいて、ベルシェバの全避難シェルターの場所を示すサービスを提供開始。他都市にも拡大予定。
- 27日 LIDAR センサー開発 Oryx Vision 社が廃業、投資家に 4,000 万ドルを払い戻す予定。同社は 2009 年創業。廃業の理由は、市況の変化。
- 27日 匿名の情報筋によると、イスラエル最長の高速道路 6 号線で、積載量超過のトラックを監視するため、走行中のトラックの重量を計測するシステムの実証実験を予定。
- 28日 エル・アル航空が、来年 3 月開設の成田-テルアビブ間の直行便のチケット販売を開始。3 月 11 日から就航で、成田発は火木日、テルアビブ発は月水土に運航。

- 28日 イノベーション庁が公表した統計によると、イスラエルのハイテク分野における労働者数の割合が、全労働者数に対し、8.7%に上昇。初めて30万人を超えた。
- 28日 モービルアイのエルサレムの新たな開発センター建設が着工。ネタニヤフ首相らが式典に参加。8階建てで、2,700人の従業員が働くこととなる予定。
- 28日 イスラエル中南部のアシュドッド市がハイテクパーク建設を発表。同市と北京市との協定に基づくもので、中国語のコース開設等もあわせて公表。中国が一部費用を拠出。
- 29日 自動車向けサイバーセキュリティ企業 Argus Cyber Security 社は、エル・アル航空ボーイング 787 ドリームライナーの安全性をテストする予定。同社の航空サイバー部署が国家サイバー総局の入札を落札した。
- 29日 イスラエル最大のバス会社 Egged 社は、蘭ハーグ周辺で新たな電気バスの路線の運行を開始した。同社は既に、アムステルダムとロッテルダムでも同様の路線を運営中。
- 29日 イスラエル防衛装備品企業 Rafael Advanced Defense System 社がインド Astra Microwave Product 社とともに、インド軍向けブロードバンド通信システムの製造拠点をインドのハイデラバードに設立。
- 29日 関係者が匿名を条件に明かしたところによると、イスラエル最大のガス田レヴァイアサンを運営するコンソーシアムが、イスラエルの石油精製企業 Bazan Group 社に、天然ガスの副産物であるコンデンセートを販売する方向で交渉中。同天然ガス田の寿命と見られる35年間で産出されるコンデンセートは、10億ドル相当と見込まれる。
- 30日 ネゲブ砂漠のアシャリム付近に、121メガワットの太陽熱発電所が開設。イスラエル全土の電力需要の約0.75%、7万戸分に当たる発電容量を有する。

# 主要経済指標

## 1. 経済成長率（GDP）

- 2019年第2四半期の成長率はわずか1%。前期に増税を前にした自動車輸入の駆け込み需要があったことの反動。

中央統計局の発表によると、2019年第2四半期の経済成長率（一次推計）は、年率わずか1.0%であった。第1四半期の4.7%、2018年第4四半期の4.2%から急激な落ち込みとなった。2019年上半期でみると、3.6%成長となる。

自動車輸入の急激な落ち込みによる公共消費と固定資産投資の低下によるものだが、第1四半期に増税を前にした個人向け自動車の輸入急増が生じたことの反動と考えられる。自動車輸入の影響を除くと、第1四半期は3.2%成長、第2四半期は3.1%成長となる。

出典：報道 Haaretz (<https://www.haaretz.com/israel-news/business/.premium-israel-s-gdp-rise-could-to-1-rate-in-2nd-quarter-1.7695047>)

Globes (<https://en.globes.co.il/en/article-israeli-economy-grew-at-just-1-in-q2-2019-1001297561>)

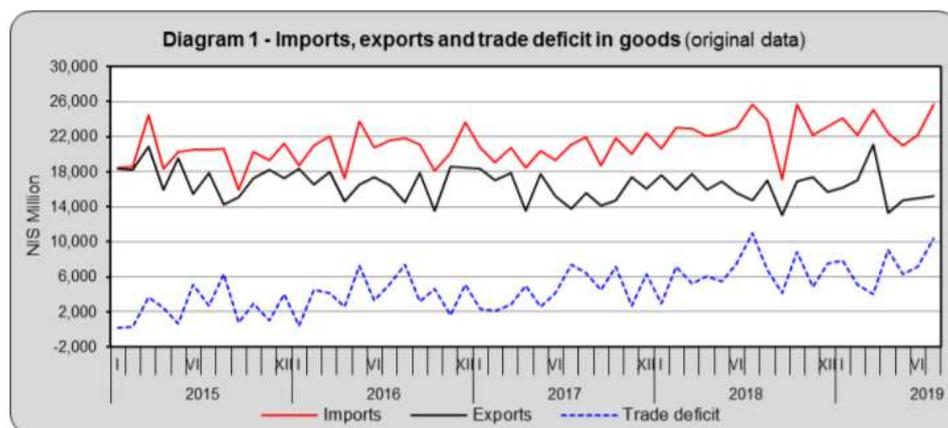
## 2. 貿易（EXPORT & IMPORT OF GOODS）

- 2019年7月期の貿易赤字は104億NIS

中央統計局の発表によれば、2019年7月期の物品輸入は256億NIS、物品輸出は152億NISであり、貿易赤字は104億NISであった。

物品輸入（航空、船舶、ダイヤ、燃料除く）は直前3カ月間で年率10.7%減少した。輸入の39%は原材料（ダイヤ、燃料除く）であり、18%が消費財、14%が機械装置、陸上輸送機であった。残り29%はダイヤ、燃料、船舶、航空機である。

物品輸出（航空、船舶、ダイヤ除く）は直前3カ月間で年率1.7%増加した。鉱工業製品の輸出が全体の90%を占め、9%がダイヤモンド、残り1%が農林水産品であった。工業製品輸出のうち44%を占めるハイテク製品輸出は、直近3カ月で年率6.7%増加した。



(※ — : 輸入, — : 輸出, - - - : 貿易赤字)

出典：[https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2019/241/16\\_19\\_241e.pdf](https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2019/241/16_19_241e.pdf)

### 3. 失業率 (UNEMPLOYMENT RATE)

#### ● 2019年7月の失業率は3.7%

中央統計局は、2019年7月期の失業率は3.7%であり、前月比0.4%減だったと発表。労働参加率は63.1%で、前月比0.3%減。

2019年6月期の15才以上人口における労働人口は410.1万人、うち被雇用者数は395.1万人（男性207.1万人、女性188.0万人）となった。

出典：イスラエル中央統計局 ([https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2019/26/2/20\\_19\\_262e.pdf](https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2019/26/2/20_19_262e.pdf))



### 4. 消費者物価指数 (CPI)

#### ● 7月期のCPIは前月比0.3%減

中央統計局の15日の発表によれば、2019年7月期の消費者物価指数は前月より0.3%下落。エコノミストの予測を2か月連続で下回る結果となった。

過去12か月間では0.5%の上昇。年初からの上昇率は0.6%で、イスラエル中央銀行が年間のターゲットレンジとしている1%~3%を下回る。

価格下落は、被服・履物、農産物、家具・家庭用品、交通費など、広範囲に及んだ。

中央統計局は、5-6月期の住宅価格指数も公表。4-5月期に比べて0.8%上昇となった。

出典：報道・Globes (<https://en.globes.co.il/en/article-cpi-down-in-july-1001297453>)

Haaretz (<https://www.haaretz.com/israel-news/business/.premium-deflation-raises-p-respect-the-bank-of-israel-will-try-to-tamp-down-the-mighty-shekel-1.7695001>)

## 5. 政策金利（INTEREST RATE）

### ● 中銀、政策金利を 0.25%で維持

28日、イスラエル中央銀行は、政策金利を0.25%のまま維持することを決定。

中銀による声明の要旨は以下のとおり。

前回の金利決定（7月8日）以来、物価上昇環境は下方に変化した。6月及び7月のCPI指標は期待されたものよりも著しく低く、過去12か月間の物価上昇率は0.5%である。エネルギー・野菜・果物を除くと、0.9%となる。CPIにネガティブな影響を与えたのは、ボラテリティの大きい野菜・果物と、シェケル高とエネルギー価格下落の影響を受けたものである。短中期的な期待物価上昇率は下落しており、1年間の期待上昇率はターゲット幅の下限付近となっている。ただし、長期の期待上昇率はターゲット幅の中央付近にとどまっている。

名目実効為替レートでシェケルは、前回の金利決定以来3%高、年初来8.7%高となっている。もしシェケル高が続けば、さらに長い間、物価上昇率をターゲット幅に戻すことは難しくなるだろう。

経済活動はだいたい潜在成長率に近い形で成長しており、イスラエルの活動はネガティブな世界の趨勢からは悪影響を受けていないように見える。耐久消費財と公共消費を除いた民間消費は、第四半期では伸びており、過去2年間に特徴的な輸出の拡大傾向は、サービス輸出に主導される形で続いている。第3四半期の一次推計によると、成長が潜在成長率付近で続いていると評価できる。労働市場は引き続きタイトである。

前回の金利決定以来、世界経済に関するリスクは、主として「貿易戦争」の悪化の観点から増大している。米国その他の国で金利は下がっており、欧州ではさらなる利下げが予想されており、さらなる金融調節が予想されている。

政策金利の見直しは年10回で、次回公表日は10月7日。

出典：イスラエル中央銀行 (<https://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/28-8-19.aspx>)

## 6. 為替 (EXCHANGE RATE)

### ● 8月も引き続きシケル高の展開

為替相場はシケル高が続いており、1ドル4NISを割り込んでいる。また、2017年4月以来、1ユーロ3.9NISを下回っている。

8月も、中旬までは、心理的に大きな閾値となっている1ドル3.5NISを下回る水準で為替が推移し、ゴールドマンサックスは、今後6か月以内に1ドル3.45NISに達し、中銀による為替介入がなければそれすら下回るかもしれないとする予想を述べたレポートを公表した。

一方、中旬に入ると、ニューヨーク証券市場とナスダックの株価下落、いくつかのセクターにおける米国債券の利回りが2008年以来初めてゼロを下回ったこと、ドイツ経済の減退など、世界経済の後退への懸念から、安全資産としてのドル買いの動きが強まり、シケル安の展開に。さらに、7月期のCPIが予想よりも低い-0.3%となったこと、第2四半期の成長率がわずか1%であったことも受け、シケル安が進行した。

しかし、下旬に入ると、債券の利回りが回復し、世界経済の減退への懸念が後退したことを受け、再びシケル高気配となったり、米中貿易紛争への懸念から世界経済の不確実性が増大したことからシケル安となったり、一進一退の相場となった。

出典：報道・グローブス紙 (<http://www.globes.co.il/en/market.tag>)

グラフ出典：中央銀行・8月のドルシケル相場推移 (<https://www.boi.org.il/en/Markets/ExchangeRates/Pages/Chart.aspx?CurrencyId=3&DateStart=01%2F08%2F2019&DateEnd=30%2F08%2F2019>)



## 7. 外貨準備高 (FOREIGN RESERVE)

### ● イスラエルの外貨準備高は引き続き 1,200 億ドル

中央銀行による発表によれば、2019年7月末時点の外貨準備高は、前月比1.14億ドル減となる1,200億ドルであった。現在、外貨準備高はGDPの32.5%を占める。

減少の要因は、評価替(6.18億ドル)、民間移転(0.12億ドル)であった。他方、政府移転(5.16億ドル)による準備高の増加も生じている。

過去12か月間で外貨準備高は1,158億ドルから増加。シケル高が続いていることを受け、外貨購入に対する期待が高まっているが、年初から中央銀行が行った外貨購入は1億ドルにも達していない。

出典：イスラエル中央銀行 (<https://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/07-08-19.aspx>)

出典：報道・グローブス紙 (<https://en.globes.co.il/en/article-no-foreign-currency-purchases-in-july-as-reserves-fall-1001296470>)

## 8. 主要株価推移 (TA35)

### ● 月間推移

Trading Chart - TA-35

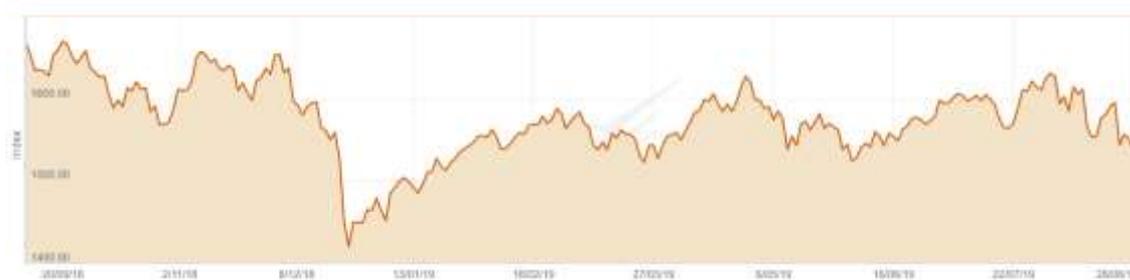
01/08/2019 - 29/08/2019



### ● 年間推移

Trading Chart - TA-35

03/09/2018 - 29/08/2019



出典：テルアビブ証券取引所 (<https://www.tase.co.il/en>)

## イスラエル経済関係記事

### ベンチャー投資 最近のメガ投資の流れが意味するもの

この夏は、立て続けに起こった3件の投資が計5億ドル以上をもたらしており、イスラエルのテック業界にとって良い夏となっている。先月末、テルアビブに拠点を置く業務管理ツールのスタートアップ Monday.com 社がシリーズDの1.5億ドルの投資ラウンド完了を発表し、その翌日、エルサレムに拠点を置くモバイルアプリ開発企業 Lightricks 社がシリーズCの1.35億ドルの資金調達を発表。さらに、イスラエル軍のインテリジェンス部隊出身者が設立し、テルアビブで200人を雇用しているボストンに拠点を置くサイバーセキュリティ企業 Cybereason 社が、ソフトバンクからの2億ドルの投資を発表した。また、イスラエル関連企業でニューヨークに拠点を置く不動産企業 Compass 社は、先月下旬に3.7億ドルを資金調達している。イスラエル関連のオンライン保険企業 Lemonade 社も、ソフトバンクをリード投資家として4月に3億ドルを調達している。

これら全ての資金調達は、非イスラエルのファンドによるものである。イスラエル国内のファンドも隆盛ではあるが、年間売上高数千ドルにつながるような数億ドル規模の投資ラウンドをリードできるファンドは多くはない。

イスラエルのほとんどのスタートアップと同様、Monday.com 社は最初の投資をイスラエルの投資家から調達しているが、そのうちのほとんどがその後手を引いている。2月、同社のアーリー期の投資家の一つであるイスラエルの VC Genesis Partners は、Monday 社の株式を含む4号ファンドのポートフォリオを、ニューヨークに拠点を置く VC・PE 企業 Insight Venture Management 社に売却した。Monday 社の最新の投資ラウンドにおいて、Insight 社は投資家の一つとなっている。Vintage Investment Partners (イスラエル) も投資ラウンドに参加したが、株式の取分はずっと小さい。このことは、仮に Monday 社が数年以内に株式公開又は買収された場合、利益を得るイスラエル投資家が非常に少なくなることを意味する。

テルアビブ Aleph Venture Capital 社の Eisenberg マネージング・パートナーは、イスラエルは「スケールアップネーション」になってきていると語る。同社は、Lemonade 社の最初の投資ラウンドでの投資家の一つだ。彼によると、機関投資家がこの変化に対応できず、投資機会を逃しているという。「ほとんどの人は、イスラエルが大企業を生み出すことができるはまだ信じていない」。成長期の企業は、投資のみならず、銀行サービスや借入金、与信といった他の金融商品にアクセスする必要があり、国際的投資家のほうがこうした点でより投資先企業を支援できる、と彼は言う。イスラエルの機関投資家は、テック投資の専門性を有しておらず、そうした専門性を持つ外部の投資専門家にお金を支払いたがらない、と。「国際的ファンドで働くイスラエル人は豊富に存在するが、彼らはイスラエルの機関投資家が支払う額よりも大きな給与を稼ぐことができる。才能にはお金がかかる。」

そして、国内のファンドによって投資される資金の大部分でさえも、イスラエル国外から来ているということ指摘せねばなるまい。テルアビブに拠点を置くリサーチ企業 IVC Research Center とイスラエルの国際的法律事務所 ZAG-S&W による7月のレポートによれば、2019年第2四半期に、イスラエルの投資家は174件のディールで7.04億ドルを国内のテック産業に投資した。これは過去6年で最高額である。しかしながら、同レポー

トによると、イスラエルのテック企業に投資される資金のうちイスラエル資本に由来するものは、わずか 30%である。いくつかの例外はあるものの、外国投資家のほうが、より成熟した企業を選び、より多くの資金を提供している。

出典：報道 CTech by Calcalist

(<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3767978,00.html>)

### 直行便 エル・アル航空が成田-テルアビブ間の直行便のチケット販売を開始

エル・アル航空はイスラエル-日本間の新航路を3月11日に就航させる。機材は同社の新たなボーイング787ドリームライナーを用い、週3便の直行便。2019年9月10日までは、販売開始期間として、往復999ドルで航空券を提供する。The frequent flyer clubのメンバーとFLYCARDの保有者に対しては、ディスカウント価格で航空券を購入できる特典も付与される。成田への最初のフライトLY091は2020年3月11日水曜日、成田からテルアビブへの最初のフライトLY092は2020年3月12日木曜日となる。

#### <2020年春のフライト・スケジュール>

・日本行(LY901)：ベングリオン空港を土曜夜、月曜、水曜に出発。飛行時間約11時間半。

・東京からイスラエル行(LY902)：東京(成田)を日曜、火曜、木曜に出発。飛行時間約12時間半。

なお、エル・アル航空は、(上記について)変更の権利を留保する。

出典：プレスリリース

(<https://www.elal.com/he/about-ELAL/About-ELAL/News/Pages/Tokyo-Elal.aspx>)

## サイバーセキュリティ ソフトバンクがサイバーリーズンに 2 億ドルを追加投資 サイバーリーズンはユニコーン企業の仲間入りを果たす

ソフトバンクがボストンに拠点を置くサイバーリーズンにシリーズ E として 2 億ドルを追加投資。今回のラウンドの出資者はソフトバンクのみ。これにより、同社はサイバーリーズンに 3,5 億ドル以上を投資したことになり、サイバーリーズンの累計調達額は 4 億ドル、企業評価額は 10 億ドルを超え、ユニコーン企業となった。サイバーリーズンは、市況をみながら、IPO の準備に入ることとなる。

サイバーリーズンによれば、ソフトバンクが支配権を握っていることはないと否定。また、ソフトバンクのビジョンファンドにはサウジアラビアが資金拠出を行っているが、同国からの資金はサイバーリーズンには入っていないと否定。

2012 年にイスラエル国防軍のインテリジェンス部隊出身者たちによって創業されたサイバーリーズンは、エンドポイント・ディテクションとレスポンスのソフトウェアを専門とする。顧客のコンピューターネットワーク上で走っているプログラム、ユーザーがアクセスしたファイル、そしてマウスやキーボードの動きについてまでもデータを収集・分析し、ネットワーク上のハッカーを探知する。従業員は過去 2 年で倍増し、現在 500 人。そのうち 200 人はテルアビブにいる。他にボストン、ロンドン、東京、シドニーに拠点を有しており、顧客数は過去 2 年で 3 倍に増え、Fortune500 企業を中心に現在 500 社。アーリー期の投資家にはロッキード・マーティンや Spark Fund もいるが、最近の投資は全てソフトバンクから得ている。

出典：報道 CTech by Calcalist, Forbes, Haaretz

(<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3767746,00.html>)

(<https://www.forbes.com/sites/monicamelton/2019/08/06/cybreason-raises-200-million-led-by-softbank-ahead-of-ipo/#7cb2634d79fe>) 等

## VC AT PARTNERS がイスラエル向け 40 億円のファンド・オブ・ファンズを組成

日本の AT Partners が SOMPO ホールディングスと NTT ファイナンスを LP として、イスラエルの VC に投資する 4,000 万ドル規模のファンドを組成した。このファンドは個々のスタートアップへの投資は行わず、約 10 のイスラエルの VC に投資を行う。

最初の投資として、先月、Vertex Ventures への 200 万ドルの投資を決定した。Vertex Ventures は、テルアビブに拠点を置くリサーチ企業 IVC Research Center が 6 月に公表したレポートによれば、2018 年イスラエルで最も活動的だった VC 2 社のうちの 1 つ。運用資産は 9.6 億ドルで、投資先には、会計不要のショッピングスタートアップ Trigo Vision

社、LiDAR スタートアップ Innoviz Technologies 社、クラウドのバックアップスタートアップ OwnBackup 社がある。

AT Partners の共同創業者兼マネージングダイレクターの秋元信行氏によると、第二、第三弾の投資決定を来月発表予定で、それぞれ 300 万ドルと 500 万ドルとなる。同氏によると、ファンドは、デジタルヘルス、サイバーセキュリティ、ロボテック、人工知能の分野に関心がある。

ファンドは現在のところ、イスラエルにフルタイムの従業員を置いていないが、近々状況は変化するかもしれない。調達した 4,000 万ドルは 5 年以内に投資する意向で、さらなる資金調達も続ける。

出典：報道 CTech by Calcalist

(<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3768794,00.html>)

## スポーツテック NTT ドコモベンチャーズが W.S.C. SPORTS TECHNOLOGIES 社に出資

NTT ドコモ・ベンチャーズは、同社の運用するファンドを通じて、AI と機械学習を用いてスポーツ映像から自動でハイライト動画をリアルタイムに生成し、あらゆるデジタルメディアに配信可能なプラットフォームを展開するイスラエルのベンチャー企業 W.S.C. Sports Technologies 社（以下 WSC Sports）に対して出資を行った。

WSC Sports が提供する AI ハイライト動画プラットフォームは、スポーツ中継の音声や映像、データを分析し、試合における各選手のプレーをはじめとしたあらゆる出来事を識別することで、対象とする選手やシーンなど様々な条件に応じたハイライト動画を生成する。また、Web や SNS など多様なデジタルメディアにそのまま配信できるため、消費者のニーズに応じた高品質なハイライト動画をスポーツ中継と連動しながら即座に生成し、幅広く発信することが可能となる。

WSC Sports のプラットフォームは、デジタルメディアを活用したファンエンゲージメントの向上や新たなファンの獲得を目指すスポーツチームやリーグに加え、メディア価値の最大化に関心のある放送事業者などから高い評価を受けている。実績として、米国のプロバスケットボールリーグ（NBA）や、ドイツのプロサッカーリーグである Bundesliga、北米プロゴルフツアー運営団体 PGA Tour、米国の総合メディア企業である WarnerMedia など、世界有数のプロリーグやチーム、放送事業者などに数多く採用されており、2018 年には 17,000 を超えるスポーツ映像を解析し、850,000 以上のハイライト動画を生成した。

スマートフォンにおけるスポーツコンテンツとして、ハイライト映像は今後も高い需要が予測されており、WSC Sports のソリューションは日本を含めたグローバルでの成長が期待

できる。さらに、新たなスポーツ観戦体感の創出など NTT グループが取り組むスポーツ分野での取り組みとの親和性が高く、これらの分野に対して新たな価値創造に貢献するものと期待して、今回の出資に至った。

出典：プレスリリース

(<https://www.nttdocomo-v.com/release/jxweijwf5f/>)

## スマートモビリティ デンソーが米国オハイオ州でスマートモビリティ関連プロジェクトに投資 NO TRAFFIC 社もパートナーとして参加

デンソーは、米国オハイオ州ダブリンにおいて、移動の高度化に向けた Smart Mobility Ecosystem の開始に 142 万ドルを投資すると発表した。本プロジェクトにおいて、デンソーは市、州、企業、大学をパートナーとする連合体とともに、インフラ技術を実証・実施し、付加価値のあるモビリティサービスを創造し、これまで利用されてこなかったものの道路と歩行者の安全性を向上させ移動時間を減少させるために不可欠なデータを収集する。本取組は、先進モビリティに大する新たな価値を生み出すというデンソーの長期ポリシーに合致するものであるとともに、ソフトウェアベースのソリューションへの事業療育の拡張を加速化し、新たな事業領域と顧客を探求するものである。

本プロジェクトは、ワイヤレス機器、クラウドコンピューティング、センサーやカメラ・データのネットワークを通じ、リアルタイムのトラフィックデータを収集し、交通パターンを計測し、新たな経済的機会を特定し、ガバナンスを最小化し、潜在的な課題や危険に能動的に反応する Smart Mobility Ecosystem の構築を目指すものである。

デンソーが本プロジェクトで協働するパートナーは、ダブリン市、オハイオ州、V2I(Vehicle to Infrastructure)企業の Connected Signals 社、交通インフラセンサーに係る AI 企業 DERQ USA 社、そしてイスラエルの No Traffic 社である。

No Traffic 社は、既存の信号とその制御システムをつなげることで、リアルタイムの交通ニーズに対応することを可能とする技術を有する。例えば、交差点のより混雑している側を青信号にする、といったことが可能になる。2016 年にテルアビブで創業された同社によると、同社の AI アルゴリズムにより、自動車の信号までの到着時間を正確に予測し、交通の流れを最適化することができるという。

なお、同社は、6 月にイスラエルの V2X(Vehicle to Everything)企業 Autotalks 社と提携を発表しており、Pitchbook のデータによれば、現在までに 335 万ドルを調達している。

出典：報道 CTech by Calcalist, プレスリリース

(<https://www.denso.com/us-ca/en/news/news-releases/2019/20190814-01/>)

(<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3768368,00.html>)

## アグリテック 住友商事が CROPX 社に出資

住友商事は、欧州住友商事会社（英国）を通じて、イスラエルのアグリテック企業である CropX Technologies 社に出資参画した。本件出資は、欧州住友商事における R&D 投資支援制度（注 2）を通じたスタートアップ投資。

世界人口は現在の 70 億人から 2050 年には約 100 億人に達し、必要となる食糧は 70% 程度増加すると推定されている。一方で、農業用地や水資源は減少している上に、農業従事者の高齢化も進行している。増加し続ける食糧需要に対応するために、農業の生産性向上や効率化が急務となっており、農業分野でのデジタル化の動きが加速している。

CropX 社は、「The Internet of Soil」をビジョンとして掲げている。農地に埋設する土壌センサーから得られる地中の温度や湿度、電気伝導性などの情報をリアルタイムで測定し、地質や気候などの情報と共にビッグデータ化し、独自のアルゴリズムによる分析を加えた上で、農家に対し灌漑や施肥の適正化などのデジタルアグロノミーサービス（注）を提供する。農作業の最適化により、収量の向上、資材費や人件費の削減、水資源の抑制などが可能となり、米国アリゾナ州で実施したトライアルでは、灌漑用水を 40 パーセント削減しながらも、収穫量は 10 パーセント向上させるという成果をあげている。CropX 社は、現在、米国、カナダ、メキシコ、南アフリカ、オーストラリア、タイなど世界 40 カ国で事業を展開している。

住友商事グループは、肥料、農薬、農業機械、食料等の農業周辺ビジネスを世界 44 カ国で展開。本件出資を通じて、CropX 社の事業成長に加え、同社の保有する技術と既存ビジネスを掛け合わせることで、ビジネスの高度化を目指す。

（注）デジタルアグロノミーサービス：灌漑、地質、土壌、病害虫、雑草、天候などに関する様々なデジタルデータを活用して、作物栽培に必要なアドバイスを包括的に提供するサービス。

出典：報道 プレスリリース

<https://www.sumitomocorp.com/ja/jp/news/release/2019/group/12300>

## プレジジョンメディシン アンジェスが BARCODE DIAGNOSTIC 社に出資

アンジェスは、イスラエルのバイオハイテク企業 Barcode Diagnostic 社との資本提携（アンジェスが Barcode 社株式を取得）を決議した。

現在、抗がん剤を使用したがん治療では、個々の患者に最も有効な抗がん剤を事前に見出すことは困難で、実際に抗がん剤を投与してその効果を確認することになる。そのため、投与後、抗がん剤が有効に機能しているかを判定するまで一定の時間を要し、その間、有効でないかもしれない抗がん剤の副作用を被ることになり、有効な抗がん剤が特定されるまで、その状況が繰り返される可能性がある。

Barcode 社は、個々のがん患者に最も有効な抗がん剤を選択するための意思決定ツールとして、バーコードナノパーティクル（DNA バーコード（特異的な塩基配列を有する合成 DNA）を含むリポソーム）を用いた診断技術を提供する。Barcode 社の診断技術は、患者にとって有効性が期待できる抗がん剤と DNA バーコードを封入したリポソームを複数製造し、多種類の抗がん剤をごく少量ずつ一度に患者に投与したのち、DNA バーコード量を測定することにより、個々の患者に有効な抗がん剤を特定しようとするもの。

Barcode 社は、既にマウスを用いた検証により複数の抗がん剤から有効な抗がん剤を特定できることを確認しており、将来的には乳がん患者を対象とした臨床試験の実施を目指している。

アンジェスでは、臨床開発以降の段階にある自社プロジェクトとして、重症虚血肢を対象とした HGF 遺伝子治療用製品、椎間板性腰痛症を対象とした核酸医薬（NF-κB デコイオリゴ）、高血圧 DNA ワクチンの3つのプロジェクトを進めているが、今後の成長のため開発パイプラインのさらなる拡充を目指しており、今回の資本提携はそれに向けた取組みの一環。

出典：報道 プレスリリース

<https://www.anges.co.jp/pdf.php?pdf=iiO2Zqco6wk8CNlzMI7zUHdUJbyseDy2.pdf>

## デジタルヘルス みずほ情報総研, 村田製作所, THE ELEGANT MONKEYS 社及びトッパン・フォームズが業務提携覚書を締結

みずほ情報総研、村田製作所、イスラエルのスタートアップ企業 The Elegant Monkeys 社と、トッパン・フォームズは、このたび、感情分析アルゴリズムを活用したソリューション開発と生産現場における実証実験の実施に関する業務協力覚書を締結した。

本覚書の締結により4社は、社員の健康管理や健康経営の取り組みに貢献する「感情・ストレス分析サービス」の提供に向けて協業する。具体的には、ウェアラブル機器から収集したストレスなどを含む感情的な負荷をモニタリングする AI ソリューション「KENKO Technology」を用いて、社員のストレス状況の把握と生産性向上を目的とした、「健康経営」や「働き方改革」の取り組みを支援するサービスとして日本市場での事業化を目指す。

その一環として、本サービスの実証実験を2019年9月から2020年3月の期間、トッパンフォームズの子会社であるトッパン・フォームズ関西株式会社の大坂桜井工場で行う。実証実験では、生産現場における社員のストレスレベルの把握とストレス原因の特定を行い、業務プロセスや人員配置の見直しなどの改善策を実施します。施策実施後、「KENKO Technology」による定量的なデータ分析に基づいた改善策の有効性について検証を行い、今後のサービス開発に活用していく。

また、健康経営の一環として、新たに「女性の健康保持・増進に向けた取り組み」が求められる中、社員の健康管理支援や健康的に活躍できる職場づくりに取り組む企業に向けて、トッパンフォームズが開発したヘルスケア IoT サービス「わたしの温度」への感情・ストレス分析技術の適用を目指し、取組を進める。

出典：プレスリリース

<https://www.mizuho-ir.co.jp/company/release/2019/mou0829.html>

<https://www.toppan-f.co.jp/news/2019/0829.html>

<https://www.murata.com/ja-jp/about/newsroom/news/company/general/2019/0829>

## イスラエルにおける展示会・国際会議の今後の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。  
※日本からお越しになる方には、現地情勢のブリーフィング等、各種サポートをさせていただきますので、御連絡ください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

**AI・ビッグデータ・HLS** **FUTURE SECURITY 2019** (2019年9月9～11日, テルアビブ)

AI, ビッグデータ及び HLS(Home Land Security)に関するイベント。経済産業省及びイスラエル輸出機構が主催し, インキュベーターである SOSA が協賛。海外からの参加者限定のイベントで, テルアビブ周辺のスタートアップの視察ツアーの形をとる。

<https://www.israelfuturesecurity.com/>

**NEW** **ブロックチェーン** **D&DD TLV BLOCKCHAIN WEEK SUMMIT** (2019年9月10日, テルアビブ)

ブロックチェーンに関する各種イベント・ワークショップ等が開催される「TLV Blockchain Week」の公式オープニングカンファレンス。

<https://www.defidappsday.com/>

**NEW** **ブロックチェーン** **ETHEREAL SUMMIT TEL AVIV 2019** (2019年9月15日, テルアビブ)

ブロックチェーンに関する各種イベント・ワークショップ等が開催される「TLV Blockchain Week」の公式イベント。特にイーサリアムをフューチャーしている。

<https://www.etherealsummit.com/events/tel-aviv-2019>

**サイバーセキュリティ** **ICS CYBERSEC 2019** (2019年9月16日, リション・レツィオン)

産業用制御システムに特化したサイバーセキュリティに関するイベント。メディア及びイベント企画の People & Computer が主催し, 600 人の参加を見込む。

<https://www.icscybersec.co/>

**イノベーション** **DLD TEL AVIV INNOVATION FESTIVAL 2019** (2019年9月16～19日, テルアビブ)

イスラエルにおける最大規模のイノベーション及びスタートアップの祭典。イスラエルのスタートアップをはじめとする企業と世界各国からの投資家が集まり, 様々なカンファレンスや展示が催される。メインは18・19日の2日間。

<https://www.dldtelaviv.com/2019/index.php>

**医療** **PRECISION MEDICINE IN THE PRISM OF IMMUNOLOGY AND CANCER: JOINT MEETING OF THE IIS & THE ISCR** (2019年9月23～25日, テルアビブ)

イスラエル免疫学会 (IIS) とイスラエルがん研究学会 (ISCR) によるカンファレンス。イスラエルの大学・病院の研究者がスピーカーを務める。

<https://www.ortra.com/events/immunocancer/Home.aspx>

**フードテック** **FOODTECH IL 2019** (2019年9月23日, テルアビブ)

「Israel's AgriFood Week」の一環で, フードテックに関する展示会。イスラエルの大手食品・飲料メーカーである Strauss Group が企画・運営。

<https://www.foodtechil.com/>

**農業** **AGRIVEST 2019** (2019年9月24日, テルアビブ)

「Israel's AgriFood Week」の一環で, 非営利シンクタンクである Israel Innovation Institute, 医療・農業技術に関する VC である trendlines 社, グリーン関連技術に関する VC である GreenSoil 社が企画・運営。

<https://www.agrivestisrael.com/>

**農業** **GROWINGIL INVESTORS EVENT** (2019年9月25日, テルアビブ)

「Israel's AgriFood Week」の一環で, 非営利シンクタンクである Israel Innovation Institute, 大手 NPO である Start-Up Nation Central, 経済産業省, イスラエル政府のイニシアチブ「デジタルイスラエル」が共同で企画・運営。投資家に対するスタートアップによるピッチイベント。

<https://www.israelinnovation.org.il/growingil-investors-event>

**モビリティ SMART MOBILITY SUMMIT 2019** (2019年10月28～29日, テルアビブ)

イスラエル首相府が先導する「燃料選択及びスマート・モビリティ・イニシアチブ」により進められているイベント。今回で7回目を迎える。イスラエルの交通関連スタートアップの展示やセミナーが開催予定。

<http://www.fuelchoicessummit.com/>

**印刷 ISPRINT** (2019年10月29～31日, テルアビブ)

印刷, デジタル印刷, グラフィクス, サイネージ等に関する展示会。

<https://www.stier.co.il/isprint/en/>

**医療 INVENTIONS AND INNOVATIONS: MEDICINE 2040**  
(2018年11月4～5日, テルアビブ)

医療及び科学のカンファレンスをオーガナイズする Comtecmed による国際カンファレンス。ノーベル化学賞受賞者など、一線の研究者によるセミナーのほか、企業展示も予定されている。本年が初開催。

<http://ini.comtecmed.com/>

**NEW 歯科医療 THE DENTAL SHOW 2019** (2019年11月4～5日, テルアビブ)

歯科関連の展示会で、7,000人の歯科医師、技術者等の来場を見込む。

<http://www.dentalshow.net/>

**通信 IEEE COMCAS 2019** (2019年11月4～6日, テルアビブ)

マイクロ波, 通信, アンテナ, 電気システムに関する国際カンファレンス。世界約40か国から1,500人以上の参加者を見込む。本年は, デジタル AESA レーダー, Intuitive Microwave Filter Design with EM Simulation, 5G, IoT 通信などを取り上げる。

<https://www.comcas.org/>

## **産学連携** AUTM ASIA 2019 (2018年11月4～7日, エルサレム)

ヘブライ大学の技術移転機関 Yissum, 学術研究とイノベーションを支援する NPO である AUTM, 及びイスラエルの技術移転機関のネットワークである The Israel Tech Transfer Network が主催する, 技術移転に関するカンファレンス。

<http://autmasia.com/>

## **再生医療** 7TH INTERNATIONAL STEM CELL MEETING (2019年11月12～13日, テルアビブ)

イスラエル幹細胞学会が主催する国際学会。

<https://www.stemcell2019.org/>

## **水** WATEC ISRAEL 2019 (2019年11月18～21日, テルアビブ)

水・環境技術に関する国際展示会。水・エネルギー・環境分野の企業が主として参加し, 新たなビジネスパートナーや投資家等を見つける機会となる。水技術に関するカンファレンスや専門家パネル等のイベントも多数併催される。

<http://watec-israel.com/>

## **物流** ELECTRONIC PACKAGING, ELECTRO-MECHANICAL SOLUTIONS & 3D DAY 2019 (2019年11月19日, テルアビブ)

エレクトロニック・パッケージをはじめとする包装、物流関係全般に関するカンファレンス及び展示会。

<https://www.new-techevents.com/electronic-packaging-and-electro-mechanical-solutions/>

## **NEW** **デジタルヘルス** DIGITAL.HEALTH.NOW.2019 (2019年11月27日, テルアビブ)

非営利シンクタンクである Israel Innovation Institute が主催するデジタルヘルスに関するイベント。1,500人, 350のスタートアップの参加を見込む。カンファレンスの他に, B2B ミーティング等もアレンジされる。

<https://www.healthil.org/digitalhealthnow2019>

## **IOT** IOT, EMBEDDED SOLUTION & MICROPROCESSORS 2019

(2019年12月10日, テルアビブ)

IOT、組み込みシステム、マイクロプロセッサに関するカンファレンス及び展示会。

<https://www.new-techevents.com/embedded-and-microprocessors-conference/>

## **NEW** **災害対応** IPRED, THE 6TH INTERNATIONAL CONFERENCE ON PREPAREDNESS & RESPONSE TO EMERGENCIES & DISASTERS (2020年1月12~15日, テルア ビブ)

緊急・災害時の準備・対応に関する国際会議。主なテーマは銃乱射事件・人道的価値・クラウドソーシング緊急対応・オールハザードアプローチとトップハザードアプローチ・フェイクニュースの時代の緊急&コミュニケーション管理・救命救急士 (EMT) イニシアチブ。

<https://www.ipred.co.il/>

## **IOT** MOTION CONTROL, AUTOMATION & POWER SOLUTIONS 2020 (2020年1月14日, テルアビブ)

モーション・コントロール、自動化、ロボット等に関するカンファレンス及び展示会。

<https://www.new-techevents.com/motion-control-power-solutions/>

## **サイバーセキュリティ** CYBERTECH (2020年1月28~30日, テルアビブ)

サイバーセキュリティの国際会議, 展示会。米国以外で行われるものとしては世界最大級。産業界, 政府政策決定者, 技術専門家等が世界から訪れる。ネットワーキング機会の提供も行っており, B2B ミーティング機会も提供される。

<http://www.cybertechisrael.com/>

## **スタートアップ** 2020 OURCROWD GLOBAL INVESTOR SUMMIT (2020 年2月11~13日, エルサレム)

エルサレムのクラウドファンディング型 VC である OurCrowd による年次イベント。OurCrowd の投資先を中心としたスタートアップと投資家が一堂に会する大規模なイベント。2019年は187か国から18,000人の登録があったとされる。

<https://summit.ourcrowd.com/>

**スマートシティ MUNI WORLD 2020** (2020年2月18~20日, テルアビブ)

イスラエルの地方政府の連合団体が開催するスマートシティに関するイベント。世界各国の地方自治体から参加者が集まり、ベストプラクティスや専門知識を共有することを目的に、企業展示やカンファレンスを実施。150社以上のイスラエル企業、9,000名以上の参加を見込んでいる。

<http://muniexpo.co.il/muni-world/>

**防衛/航空 MILITARY & AVIATION EXHIBITION 2020** (2020年3月3日, テルアビブ)

防衛・航空分野に関するカンファレンス及び展示会。

<https://www.new-techevents.com/motion-control-power-solutions/>

**NEW 保守管理 MAINTENANCE ELECTRICITY & INDUSTRY**  
(2020年3月3~4日, テルアビブ)

ビルメンテナンス、産業用機械の保守管理、電気工事、空調、換気等に関する展示会。1994年から毎年行われている。

<https://expochannels.com/Website/en/Maintenance/About>

**NEW スマートモビリティ ECOMOTION WEEK 2020** (2020年5月18~21日, テルアビブ)

非営利シンクタンクである Israel Innovation Institute と、首相府の取組である「Fuel Choices and Smart Mobility Initiative」、経済産業省が連携した事業である EcoMotion の年次イベント。4,000人、130のスタートアップが参加するメインイベント（カンファレンス・展示会）は、19日開催。

<https://www.ecomotion.org.il/>

## **エレクトロニクス** NEW TECH 2020 EXHIBITION(2020年5月26～27日, テルアビブ)

ハイテク分野に関する大規模展示会で、150社以上が展示、数千人の来場者を見込む。対象分野は、クリーンルーム装置、電子光学品、レーザー、光ファイバー、レンズ、カメラ、試験用機器、プリント基板、筐体、電子機械器具、周辺機器、組込みシステム、モーター、ロボティクス、通信機器等。

<https://www.new-techevents.com/motion-control-power-solutions/>

## **光学** OPTO TECH 2020 (2020年5月26～27日, テルアビブ)

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される、電子光学品に特化したイベント。

<https://www.new-techevents.com/opto-tech/>

## **インダストリー-4.0** INDUSTRY 4.0 – SMART FACTORY (2020年5月27日, テルアビブ)

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される、インダストリー4.0・スマート工場関連に特化したイベント。IoT、自動化・ロボティクス、M2M、AI、サイバーシステム、クラウド等を対象とする。

<https://www.new-techevents.com/industry-4-o-smart-factory/>

## 日本におけるイスラエル関連イベントの今後の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

### **NEW** **自動車** 名古屋オートモーティブワールド 2019（2019年9月18～20日，愛知）

自動運転、EV/HEV、カーエレクトロニクス、コネクティッド・カー、軽量化など、自動車業界における先端テーマに関する技術を持つ企業、370社が一堂に出展。

イスラエルから最新の先端自動車技術を持つ企業10社を招き、イスラエルパビリオンとして出展されるほか、イスラエル自動車技術セミナーも開催。

<https://www.automotiveworld-nagoya.jp/ja-jp.html>

イスラエル自動車技術セミナーへの参加及び出展するイスラエル企業との個別面談は、在日本イスラエル大使館経済部の以下webページから申込可能。

[https://israel-keizai.org/events/event/nagoya\\_automotive\\_world\\_2019/](https://israel-keizai.org/events/event/nagoya_automotive_world_2019/)

### **観光** ツーリズム EXPO ジャパン 2019（2019年10月24～27日，大阪）

日本で開催される世界最大級の旅の祭典。イスラエルブースが出展予定で、イスラエルの観光業者が多数来日予定。

<https://www.t-expo.jp/>

### **NEW** **イノベーション** イノベーションリーダーズサミット 2019（2019年10月28～30日，東京）

大手企業のアセットとスタートアップのアイデアやテクノロジーをマッチングし、グローバルイノベーションを生み出すことを目的とした、アジア最大級のオープンイノベーションカンファレンス。今年で7回目の開催となる。

本年は日本貿易振興機構（JETRO）が協力し、イスラエルスタートアップの参加を促している。

<https://ils.tokyo/>

**サイバーセキュリティ** **サイバーテック東京 2019**（2019年11月26～27日、  
東京）

イスラエル発祥で、今や世界中で開催されている B2B ネットワーキングプラットフォームである Cybertech の東京開催イベント。世界の企業トップ、政府高官、オピニオンリーダーを迎えてのカンファレンスのほか、スタートアップのパビリオン

<https://tokyo.cybertechconference.com/ja>